

いまよりの風

令和3年(2021年)7月14日発行

学校通信 第78号

北海道今金高等養護学校

〒049-4304

瀬棚郡今金町字今金 454-1

TEL 0137-82-3121 FAX 0137-82-3092



「一学期を終えて」

校長 進 藤 仁

はじめに、この度の静岡県熱海市伊豆山の大規模土石流において、被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を御祈念申し上げます。

昨年同様、感染症対策のために、様々な制約があった一学期が終了します。

今学期も、保護者・地域の皆様にはたくさんのご理解とご協力をいただきましたこと、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

各学年がそれぞれ新たなスタートを切った、この4か月間。新しい友達・先生との出会い、教室・舎室移動、学習内容・役割活動の違いなど、生徒たちは様々な変化に対応しようと努力しています。マスク越しになりますが、満面の笑顔で友達や先生方と語り合う姿に、その成長を実感しています。コロナ禍において、「学習を継続する」観点から、オンラインや自学習教材の整備を検討しつつも、やはり、学校生活の営みは対面することが効果的であることは自明の理です。この従前の対面型学習に問題解決学習という方法があります。私の遠い記憶の事で恐縮ですが、自身の教育実習の際にこの学習法で研究授業をさせていただき、悪戦苦闘した思い出があります。本校で言うと「生活単元学習」が、この学習に近いと考えます。この学習は「生活にかかわる様々な事柄に対して、思いや問いを持ちながら解決し、やり遂げる。そして、その過程や結果において知識や技能・やりがいや成就感を獲得すること」が目的となります。この問題解決学習に欠くことのできない条件の一つに「生徒一人一人(個)と学級など(集団)との関係」の築きがあります。1年生は素地固めの時期ですので、個と集団がお互いに及ぼす影響は良くも悪くも一定の方向に向かないことが多々あります。しかし、当然ながら2・3年生になると、先生方も含めて集団を構成する一人ひとりの良さなどがわかり、「あうんの呼吸」ともいうべき連帯感が生まれます。今学期、延期を余儀なくされた学習はありましたが、実施方法の工夫を重ね、概ね予定通りに進んでいます。特に体育祭を実施できたことは生徒一人ひとりにとっても学年にとっても大変意義のあることでした。共通テーマに向かって、個として集団として努力する経験ができました。併せて、寄宿舍のぴりか祭も同様な効果がありました。舎生一人ひとりが笑顔になれる楽しい寄宿舍行事を計画したいという思いが一つになりました。このように学習・生活活動をとおして、個(生徒一人一人)と集団(学級・学年等)が相互に「啓発・寄与」する関係は、今後、より大切になると考えるところです。

体育祭終了後、3年生は前提実習前の個別実習に取り組む生徒がいます。実習前に教室で実習目標を確認し、「ちょっと不安だなあ〜」と、ぼつりとつぶやいています。目標の内容は「職場の方と進んで会話をする」など・・・。「普段通り、頑張っておいで」と言葉をかけます。3年生は2学期以降、「新しい集団(職場等)」に向けて、問題解決学習(前提実習)の営みをスタートします。新たな変化(進路)への取組です。

私たち教職員一人ひとり(個)は、生徒たちの希望が叶うよう、心を一つ(集団)にして、支えていきたいと思います。

2学期も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

体育祭

6月18日（金）に令和3年度体育祭が実施されました。今年は新型コロナウイルス感染症対策により、無観客での実施となりました。2年ぶりの開催となりましたが、今年も熱い戦いが繰り広げられました。感染症対策を行いながら、生徒一人一人が練習の成果を発揮し、チーム一丸となって取り組みました。今年は紅組が優勝、白組が準優勝で幕を閉じました。



グラウンド整備（株式会社岩橋組様）

6月16日（木）に岩橋組様（岩橋克吉専務取締役様をはじめ15名）の御厚意でグラウンドの除草、石拾い、てん圧を行っていただきました。整備していただいたおかげで、2日後の体育祭も良いグラウンド条件で行うことができました。本当にありがとうございました。

また、29日（火）に整備をしていただいた感謝の気持ち込めて、進藤校長と伊藤生徒会長が岩橋組様に感謝状をお渡ししてきました。



8・9月の行事予定

日 時	予 定
23日(月)	・2学期始業式
26日(木)	・1学年ハローワーク研修
30日(月)	・3学年現場実習(～10月1日) ・3学年校内実習
9月6日(月)	・1学年現場実習(～10日)
13日(月)	・I M A Y O週間(～17日)
15日(水)	・2学年施設見学
28日(火)	・2学年宿泊研修(～29日)

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

- ・ いじめられている...
 - ・ 学校に行きたいのに行けない...
 - ・ 誰かに聞いてほしい...
- そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談

☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。